第Ⅳ部門

天王寺界隈における観光ルートの提案

東洋技研コンサルタント株式会社　正 会 員　小柳寛章
清田軌道工業株式会社　非 会 員　上田勝基
大阪工業大学工学部　正 会 員　吉川　眞
大阪工業大学工学部　正 会 員　田中一成

１．はじめに

1963 年に観光による国際親善の増進, 国際収入の改善, 国民保険の増進, 勤労意欲の増進, 教育の向上などさまざまな目的をもった「観光基本法」が制定された. 1970 年代になると, 基本的な所得額が向上したことと円高により海外旅行へ行く日本人が増加したこととは反比例するかのように訪日外国人の数は減少した.

そこで, 問題が山積みとなった「観光基本法」を改定し, 2006 年に「観光立国推進基本法」が制定され, 日本人の観光への意識が高まっていった. 2017 年には「観光立国推進基本計画」が第３期閣議決定された. 2020 年度までに４年間で, インバウンド消費を拡大し, その効果を全国的に影響させることを基本的な目標としている. これにより, さらに訪日外国人観光客の受け入れ体制の強化などが見込まれる.

２．研究の目的と方法

大阪市のほぼ中心に位置する天王寺区は, 難波や梅田への通り道になることが多い. しかしながら, 留まって観光をする人々は少なく, 宿泊施設を利用したとしても, なんばや梅田へ移動をしていくことが多い. そこで本研究では, 「天王寺界隈」での観光資源と魅力の再発見を行い, 旅行の用途に合った「魅力的な観光ルート」を提案することを目的とする.

基本的には, さまざまな観光雑誌や観光サイトを資料として活用し, 紹介されている場所を地理情報システム（GIS : Geospatial Information System）を用いてプロットを行った. 同様に資料で紹介されているルートも GIS を用いてプロットした. そのうえで, 観光資源の集積を詳細に分析し, 「天王寺界隈」の活性化につながる観光ルートの考察と提案を行った.

３．対象地の設定

天王寺区は, 大阪上本町駅と天王寺駅の二駅のターミナル駅を有しており, 天王寺駅周辺には「あべのハルカス」, 「天王寺公園」など大阪を代表する観光資源がある. また, 都心部から少し離れた場所には歴史的建造物が多数存在しており「四天王寺」, 「三光神社」, 「天王寺七坂」, 「生國魂神社」, 「愛染堂」など多数の歴史的資源がある. 「天王寺界隈」は, 都市開発による近代的な商業施設と伝統のある古き良き町並みが混在している地域であり, 他の都道府県に劣らず観光を多いにアピールできる地域である. しかし天王寺区だけでは, 力不足と考え, 周りの区の一部を含めた「天王寺界隈」を本研究では選定している. そこで, 具体的な資源の集積で対象地を設定するために天王寺区を中心とする都市計画図（1/2, 500）の図郭, 南北８・東西２のメッシュ区画を用いている（図-1）. また, 区画にはそれぞれにメッシュ番号が定められているが, 本研究では分かりやすく①～⑧と番号を設けている. この範囲から「天王寺界隈」の観光資源と観光ルートを発見する.

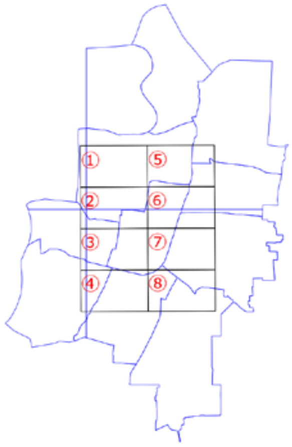

図-1　天王寺区を中心とする８図郭(1/2500)

Hiroaki KOYANAGI , Katsuki UEDA , Shin YOSHIKAWA and Kazunari TANAKA
Mail : akkiiii0719@gmail.com

4．ルートの範囲作成

8 図郭内の実態を知るため,図郭毎に観光資源の集積調査を行った.そして抽出された観光資源をプロットした.選定した資料は,日本人向けのガイドブック「るるぶ」と旅行サイト「じゃらん net」,外国人向けのガイドブック「ロンリープラネット」と旅行サイト「トリップアドバイザー」の上記 4 つを用いた.

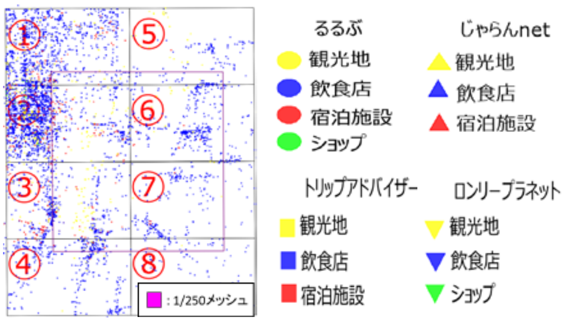

図-2 8 図郭の観光資源

その結果,図郭の①②の範囲周辺に観光資源が密集していた（図-2）.

次に,天王寺区への関連性がより深い,8 図郭の中心部の観光資源をジャンル別に整理し,1/250 メッシュに細分化して,さらにその中から提案ルートの範囲を限定した.

天王寺区がちょうど収まる長方形の範囲内に,GIS でメッシュ毎にカウントを行い,観光地・飲食店の量を視覚的に表した(図-3).そしてその結果をまとめ,メッシュ内における集積していた観光資源数を図に表した(図-4).本研究では,この着色されているメッシュの範囲を「天王寺界隈」と定める.またルートの提案は、メッシュの色の濃くなっているところを中心に行った.

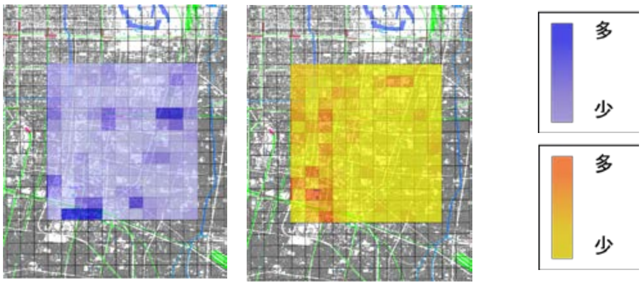

図-3 天王寺界隈の観光地・飲食店の全域

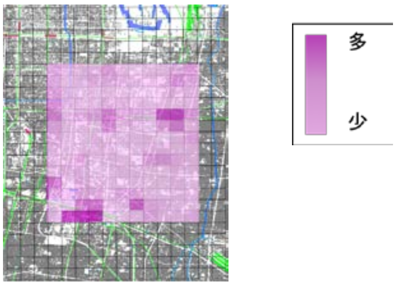

図-4 飲食店＋飲食店の全域

5．ルートの提案・位置関係(図-5)

1 つ目に提案するルートは,動物園前駅から天王寺駅周辺まで結ばれている.昔ながらの街並みと下町の良さを感じながら,新世界のくいだおれや天王寺公園の自然,現代的な商業施設等を探索し,約半日かけて回ることを予想している.このルートは,自然・歴史・街・人といった多数の観光資源を満喫できるルートと考える.

2 つ目に提案するルートは,四天王寺前夕陽ヶ丘駅から天王寺駅で結ばれている.このルートには,和空下寺町という日帰りで一般の観光客も仏教の修行体験に参加することができる宿防や,聖徳太子のゆかりのある四天王寺,堀越神社といった歴史的建造物が立ち並んでいる.古い歴史のある寺町を,約半日かけて回ることを予想している.1 と比べ,古い歴史をメインに観光するルートと考える.

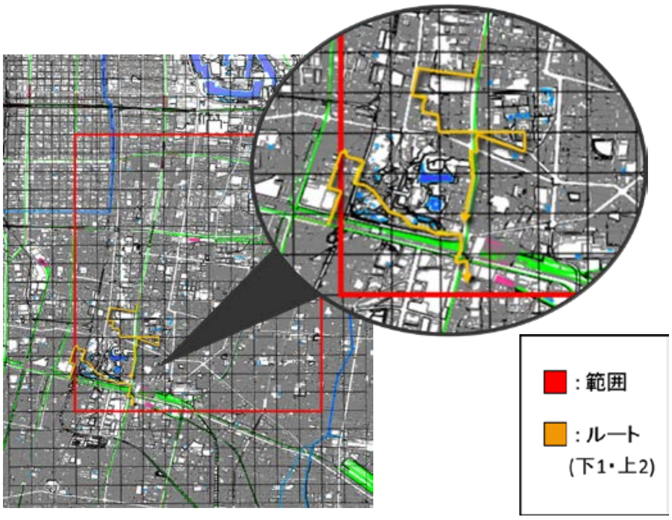

図-5 提案ルート 1.2 位置関係

6．おわりに

ルートの提案は観光資源の密集している南西地域周辺を中心に行うこととなった.「天王寺界隈」は歴史的建造物や近代建築物など,観光資源の量に対して名が売り切れていなく,観光ルートからの直接的な活性化はまだ見込めないように感じた.